

那覇市 IT 創造館の今後の運営管理に関する基本計画策定業務に係る
サウンディング型市場調査 実施結果の概要

令和 7 年 1 月 9 日

1. 実施の経緯

那覇市 IT 創造館の今後の運営管理に関する基本計画策定に向けて、企業・団体・有識者等の意見を収集し、施設の機能や活用方法についてのニーズや改善案を把握することを目的として、サウンディング型市場調査を実施しました。また、本調査は官民連携手法を検討するための基礎資料として活用することも目的としました。

2. 実施スケジュール

| 内容 | 日程 |
|-------------|-------------------------|
| 実施要領の公表 | 令和6年11月22日(金) |
| 現地見学会・説明会 | 令和6年12月2日(月) |
| 参加申込受付期間 | 令和6年11月22日(金)～12月20日(金) |
| サウンディング実施期間 | 令和6年11月22日(金)～12月26日(木) |

3. 参加事業者

民間事業者等 15事業者

(情報通信関連産業:8 [うち県内 6、県外 2]、その他:7)

4. 主なご意見・ご提案

(1) 新たな施設に求められる機能と活用方法(ソフト面)

- 基礎的なことから学べる子供向け IT 教育
- 管理人は必要だが過剰サービスは必要ない
- 地域の IT/DXでの問題を抱えた方の駆け込み寺
- 一般の方でも利用できるようにする
- 学習塾等の子供向けの民間教育施設の誘致・集積
- 現状イベントの開催が周知不足である
- MICE としての利用
- 技術セミナーやワークショップの定期開催
- ゲーム制作者養成の学生向けのプログラミング、CG 教育
- 事例研究会や異業種交流会等のイベントの主催
- 業界、世代等の境界を超えた学びの場
- 入居企業がイベントを主催できる環境

- 地域伝統文化を保存、継承する学びの場
- デザイン思考を核としたイノベーション共創拠点

(2) 新たな施設の整備に関する要望や提案(ハード面)

- オフィス従業員のための近隣開発
- 子供用の教育用機器等の整備
- 飲食店、コンビニ等の集客力のある店舗
- 災害対応したバリアフリー設備
- 会議室、ミーティングルームの増設
- IC ゲートウェイ、監視カメラの設置等のセキュリティ面の強化
- ゲーム制作等の教育に活用できる GPU の設置
- 生成 AI 等の効果検証ができる設備の整備
- 入居企業が自由に集える共有スペース
- 商品展示、商品デモ稼働のスペース
- ビジネスパートナーの募集等のできるシェアボードの設置
- 伴走支援者が常駐し常時相談可能なゾーンの設置

(3) 官民連携による運営管理の可能性と望ましい事業スキームとその理由

| 選択肢 | 回答数 | 主な理由・ご意見 |
|-------------|-----|--|
| 那覇市直営 | 0 | |
| 指定管理 | 1 | |
| 民間運営 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> - 迅速な経営判断が重要であるため。 - 行政主導は規制等でスピード感や改革面に乏しい。 |
| 那覇市と民間の協働運営 | 9 | <ul style="list-style-type: none"> - 直営では動きが遅くなるため。 - 市ではできないことを民間やコミュニティで補う。 - 民間企業のノウハウ、スキルも活用すべき。 - 民間企業の柔軟な発想、最新技術の導入でニーズに即した展開が期待できる。 - 民間比率が高い方が望ましいが、利用者の負担を考慮して協働が望ましい。 - 資金面での行政のサポートも必要。 - 周知力は民間企業のみでは限定的。 - PFI により民間企業が収益を上げること |

| | | |
|-------|----|-----------------|
| | | で行政の資金投与を漸減させる。 |
| わからない | 2 | |
| その他 | 0 | |
| 合計 | 15 | |

(4) 新たな施設の名称に関する意見

【名称】

- 那覇リゾテック&テクノ館
- 那覇市 IT コミュニティセンター
- なは・こどもみらい創造館
- メカルタウンセンター
- 那覇コミュニティカレッジ(NAHA COMMUNITY COLLEGE)
- 那覇市未来創造スペース

【ご意見】

- IT 創造館という名称は業種限定的であるため再考が必要

(5) その他新たな施設の運営管理に関する基本計画策定に必要な事項

- 完全な分煙の実施
- 雨漏りの発生や直射日光の侵入のない建物設計
- 現在の建物利用が困難な場合は、民間に土地を貸借し建て替えさせる案もある
- 明るい雰囲気づくり
- 新たな付加価値創造や機会創出につながる拠点にすることを望む
- 入居企業からのオフィススペースの要求に応じられる柔軟性のある設計
- 無料駐車場やオンデマンドバスの運行等の交通の便の改善
- リサイクル品の資材の活用等の SDGs、循環型経済の潮流を踏まえた施設設計

5. 今後の方針について

この度は本調査にご協力くださり、誠にありがとうございました。皆様から頂いたご意見・ご提案を踏まえて、「那覇市 IT 創造館の今後の運営管理に関する基本計画」の策定に向けて、今後の運営方針や施設活用方法につき、引き続き詳細な検討を進めてまいります。